



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第7号

【発行日】 令和元年7月24日

【連絡先】 022-296-8101

【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

堂々とした発表で12部門受賞

学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2019開催

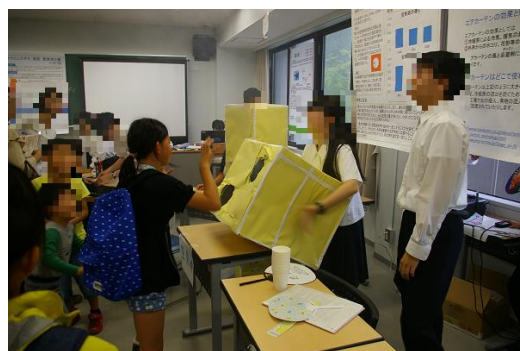
7月14日（日）に、東北大学川内キャンパスをメイン会場として、学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2019が開催されました。

サイエンス・デイとは、ブラックボックス化した現代社会で実感する機会の少ない科学や技術の“プロセス”を子どもから大人まで五感で感じられる場づくりを目指して、2007年から毎年開催されている科学イベントです。

科学技術が日進月歩する現代において、私たちは科学の力によって生み出されたたくさんの機器類に助けられながら生活をしています。しかし、それらの機器類はあまりにも便利すぎて、私たちにとっては当たり前になってしまい、その仕組みや、使われている技術に目を向けることが少なくなっています。サイエンス・デイは、そんな科学のプロセスを、体験しながら学べる貴重な機会となっており、今年来場した方は約1万人というとても大規模なイベントとなっています。

例年、仙台二華中学校では自然科学部が出場し、たくさんの賞をいただいていたのですが、今年は12部門で受賞することができました。生徒たちは、あいにくの天気にも関わらず二華中のブースに来場してくれた1,000人以上の方々に、研究成果を堂々と発表していました。

生徒は当日まで、小学生でも楽しめて、大人の方にもきちんと説明できる発表を目標に、こつこつと頑張ってきました。12部門で受賞できたことは、自然科学部の生徒にとって大きな励みとなったはずです。この経験を大きな糧として、次の研究に邁進してほしいです。



空気砲の実演

サイエンス・デイ AWARD 受賞一覧

- ・日本表面真空学会東北・北海道支部賞
- ・東北工大情報通信工学科賞
- ・日本物理学会東北支部長賞
- ・国立仙台高等専門学校 校長賞
- ・夢ある未来を、共に創りま賞
- ・日本機械学会東北支部長賞
- ・東北大学工学研究科創造工学センター賞
- ・人と社会と地球のために賞
- ・東北経済産業局知的財産室長賞
- ・サイエンスデイ TU賞
- ・東北大学流体科学研究所長・宇宙少年団仙台たなばた分団長賞
- ・仙台市天文台 台長賞



分かりやすく説明をしました。

災害時に地域に貢献できる人になるために 東京ワークショップに参加

7月13日から15日までの2泊3日で、日本フイランソロピー協会が主催する「東京ワークショップ」に、生徒会執行部から5名の生徒が参加してきました。このワークショップでは、日本各地から中学生が集まり、今後どこかで起こりうる災害に備えて、自分が何をすべきか、何をするかを考えるものです。

プログラムでは、被災地の現在の状況を確認した上で、新宿や品川など都内各地で街頭募金を行いました。募金活動の前には、活動中によくきかれる質問について具体的に学んだり、活動の趣旨が道行く人にきちんと伝わるような工夫を考えたりと、自分がどう動くのかを主体的に考えさせる場面が多くとられていました。

その他にも、健常者と障がい者が共に楽しめる「ユニバーサルスポーツ」を体験したり、東京大学を訪問して学食で昼食をとったりと、たいへん有意義な活動が多くありました。ワークショップを経験して、生徒からはさっそく自分たちで行動したいというアイデアがいくつも出されました。今後の生徒会活動に期待したいと思います。



ワークショップの様子

中2 科学館学習

7月4日（木）に中学2年生を対象に、仙台市科学館で「科学館学習」が行われました。午前中は「物理・生物・地学・化学」から1分野を選択し、実験学習を行いました。なかなか学校では経験できないような実験を行い、生徒たちは興味深く取り組んでいました。その後は科学館を自由に回っての展示学習です。一人ずつタブレットを配られ、生徒たちはブースを移動しながら、問題に答えていきました。

大勢でブースを巡って、意見交換しながら学んでいる生徒もたいへん楽しそうでしたが、目を引いたのは、展示に一人で熱心に見入っている生徒たちです。自分の知的好奇心を大切にしている姿は、とても印象的でした。



タブレットを使用しながら学習しました

楽しい夏休みを 体調をくずさぬように

いよいよ明日から8月19日まで、生徒たちが楽しみにしている夏休みが始まります。家族で過ごす時間が多くなるので、夕食の時間などを利用してゆっくりと会話してみるのも良いと思います。高校生になると、家族で過ごす時間はぐんと減ってしまうものです。中学の今だからこそ、家族旅行やキャンプなど、普段できないことを家族で経験することも大切にしたいものです。

一方で、最近話題になっているものの一つに「ゲーム障害」があります。今年の5月に世界保健機構（WHO）は、日常生活に支障をきたすほどゲームに没頭する「ゲーム障害」を新たな依存症として正式に認定しました。ゲームをする頻度や時間など、ゲームをプレイする上で制御がきかなかったり、ゲームの優先度が増し、ゲームが他の興味や日常生活よりも優先されたりする状態を指します。

中学生の年代で、ゲームの世界にどっぷりとつかり、習慣化されると自分の力でその生活を改善するのは容易ではありません。携帯ゲームの他にも、SNS、インターネットなど、中学生にとって魅力的に見えるものが現代にはあふれています。中学生とはいえ、お子様の生活には目を配り、規則正しい生活が乱れてきたと思ったら、早めの声がけをお願いします。